

学校再編案に関する豊岡地区住民意見交換会 資料

H30.1.13 豊岡福祉センター

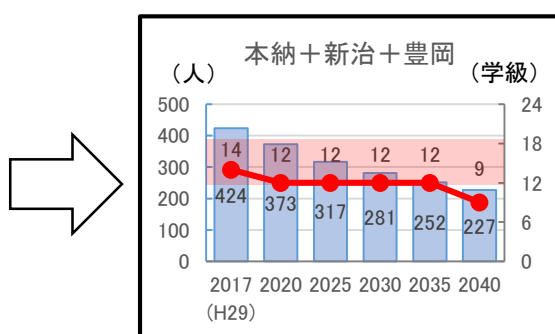
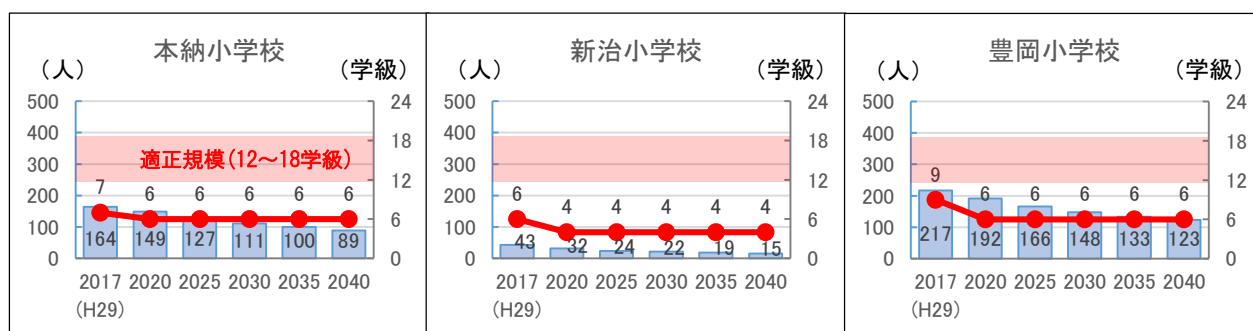
1. 審議会からの答申（抜粋） ※H29.11.20 提出

- (1) 本納小学校、新治小学校及び豊岡小学校の3校を速やかに統合する。
校舎は新設する。
- (2) 二宮小学校と緑ヶ丘小学校を統合し、校舎は緑ヶ丘小学校を使用する。

以下、(1) について

【審議会からの要望事項等】

- ・統合までの間についても、新治小学校の小規模学級に対する方策を検討すること。
- ・新校舎の建設場所については、本納中学校付近での建設など、利便性や安全性等を十分考え選定すること。
- ・学区が非常に広範囲となるため、スクールバス等の通学手段を必ず整備すること。
- ・通学の安全を確保するため、新たに通学路となる箇所への整備に努めること。



※縦棒は児童数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）。折れ線が色の付いた範囲に入っていれば適正規模。

審議会での主な内容

- ・新治小は速やかな対応が必要。1クラス数人では授業も行事も支障が生じる。
- ・スクールバスなどの整備は必須である。
- ・本納地区から小中学校をなくすことはできない。本納中との小中一貫校、小中一貫教育についても検討してはどうか。
- ・当初は「まず新治小を本納小に統合、将来的には豊岡小も統合し校舎を新設」という案だったが、本納小の崖に対する新治地区住民の不安感などを踏まえ、このように変更した。

2. 茂原市立小中学校の適正規模（平成 27 年 3 月教育委員会会議で決定）

小学校 12 学級以上 18 学級以下（1 学年 2 学級～3 学級）
 中学校 9 学級以上 18 学級以下（1 学年 3 学級～6 学級）
 ※普通学級の学級数を基準とする。

3. 学校規模ごとの基本的な方向性（基本計画より抜粋）

○小学校

全体の学級数	文部科学省手引の抜粋	基本的な方向性
1～5 学級	- 複式学級が存在 - 一般に教育上の課題が極めて大きい	速やかに統廃合する
6 学級	- クラス替えができない - 児童数に大きな幅があり、少ない場合は特に課題が大きい - 更なる小規模化の可能性なども勘案	今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合する
7～8 学級	1 つ又は 2 つの学年を除きクラス替えができない - 全体の児童数なども勘案	今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合を行う
9～11 学級	- 半分以上の学年でクラス替えができる - 全体の児童数なども勘案し課題を整理	統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討する
12～18 学級	【適正規模】	

4. 学校再編までのスケジュール

現在

- ・（平成 29 年 3 月）学校再編基本計画を策定
- ↓
- ・（5 月）外部委員からなる審議会に、学校再編の具体的な方策について諮問
- ↓
- ・審議会で審議、同時にいろいろな意見を吸い上げ
- ↓
- ・（11 月）審議会から教育委員会に答申
- ↓
- ・事務局で実施計画案を策定し、教育委員会会議で議決
 ※具体的な統廃合の内容や時期など、核となる事項を決定
- ↓
- ・統廃合に向けた準備期間
 ※スクールバスのルートや時間など詳細事項を決定
 その他、市民への周知や交流事業の実施などを行う
- ↓
- ・統廃合の実施